

やすしんぶん



こんにちは

2月になりました。2月といえば節分です。

『鬼は外、福は内』で『やすも外』です。なんて週の半分以上を飲み歩いていたら、

家庭内において恐るべき事実が、発覚したのであります。16歳の息子の証言によ

ると「オヤジが夕飯を食べる日と食べない日では、夕食の質のランクが変わる」のだと...!

たとえば、

オヤジ帰る 野菜炒め

オヤジ帰らない ステーキまたは刺身

となるのだそうです。愕然とした私は妻に文句を言おうかとも思いましたが言えば 妻は『細木数子』と化して、『男は黙ってサッポロビール』と昭和の時代の言葉で反撃されるに決まっています。文句は、控えることにいたしました。

私は平和主義の野菜炒め好きの男なのです。

ケアーの仕事

土日など、空いている時間を利用して介護の仕事やっています。私は男のヘルパーです。女性ヘルパーの出来ない力仕事専門です。細々とではありますが、始めてから5年くらいになります。

この仕事を始める前は『仕事の喜び』って目標をやり遂げたときの達成感にあると思ってきました。でもケアーの仕事の場合は何事もなく安心して無事に仕事をやり終えた時に感じる安堵感がこちよい喜びに感じられるのです。

さて、私がヘルパーとして仕事している、新小岩の介護事業者グッドケアの三浦さんから素敵なご夫婦をご紹介頂きました。

三浦さんは写真の通り美人で、しかも男らしい素敵な人です。私は大好きです。介護に関すること、ヘルパーの仕事などお困りのことがあれば親身になって相談に乗ってくれますよ。

江島豊五郎さん・トヨさんご夫妻です。



豊五郎さん

三浦さん

豊五郎さんは大正11年生まれの84歳、トヨさんは大正15年生まれの81歳です。給食の仕事をしていたトヨさん

が定年退職を迎える2年前に、58歳の豊五郎さんが、脳梗塞で倒れてしまいました。以後、豊五郎さんの右手はまったく動かなくなったのだそうです。

当時のトヨさんは『呑んべえ』の豊五郎さんが、嫌になっていて、自分

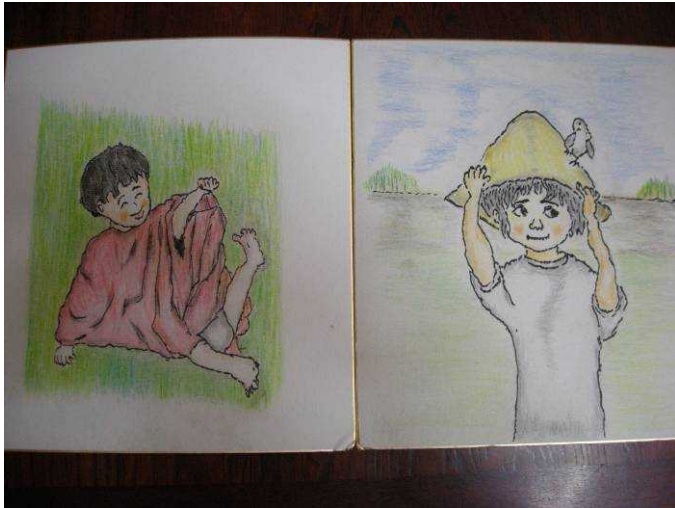


言ってくれるのはトヨちゃんだけだよ

イケメンじゃない!?

が定年になったら離婚してやろうと考えていた矢先に豊五郎さんが倒れてしまいました。離婚どころではなくなってしまい、「あれから20年もたってしまったよ」と、トヨさんはニコニコ笑いながら話してくれました。

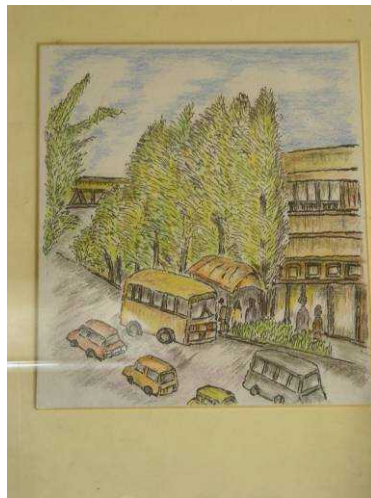
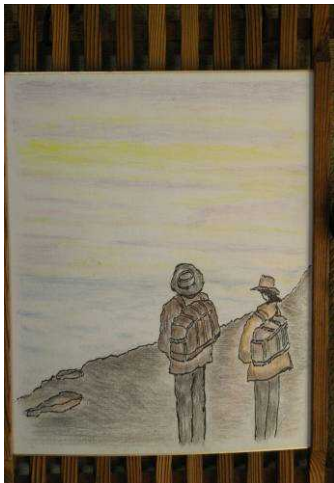
さて、そんな豊五郎さん、利き腕の右手が麻痺してから、左手で絵を描き続けています。一枚の絵を描くのに三日くらいかかるそうです。その絵が実に味わい深いのです。



見ているだけで、気持ちが暖かくなってきませんか。

なかなか遠出が出来ないので絵の題材は図書館で写真集を借りてきて得ているそうです。

いっぽう調理師を長くされていたトヨさんは、体が不自由にもかかわらず、3度の食事を欠かさず自分で作っているのだそうです。ふたりとも良いお顔されてますよね。誰もが長生きしたいと思っていますが、長生きしたら何をしようかって考えないとダメなのだよって、おふたりから、教えられている気がします。



グッドケアの新年会

が2月1日にありました。最近、忙しくてあまり介護の仕事してないので気遅れはいたしました。飲み会は誘われたら断らない主義ですから参加しました。場所は、



あなたレター名「やすしんぶん」
ほぼ毎月1回発行 発行編集責任者 村上 靖 DOG 株式会社

住所 千葉県柏市南逆井 1-7-20-202 電話 04-7173-2525 ファックス 04-7136-1385 メール insuransushi-mura2004@s2.dion.ne.jp

小岩駅北口にあるホテルニューオークラ！（すごい名前でしょ）

でも、食べ物が和洋中の折衷料理でとてもおいしいです。鯛の刺身に海老の中華風、枥酒までいただきました。ヘルパーさんが60人くらい集まった中で男はふたりだけ...まさに、ハーレム??状態でありましたが、ヘルパーさんは皆さん、優しいし世話好きで、とても楽しい時間を過ごさせていただきました。その時の写真です。



『キャバクラ』ならぬ『ババクラ』か！？

えっ！いったい、この人たちを何て呼ばばいいのでしょうか？お嬢さん？お姉さん？やはり、おネエさまですね。おネエさまがたに囲まれてご満悦な



私であります。亀有金町あたりのホストになった気分を、満喫しました。ありがとうございます。

注「キャバクラ」「ババクラ」は、ただ書いてみたかっただけです。他意はございません。また、このフレーズを書きたくて、写真撮っていたわけでは決してありませんので、誤解なきようよろしくお願いします。

さて、今月のやすしんぶんはこのくらいにしておいて、江島さんご夫婦、末永くお達者で、ヘルパーの皆さんご健勝をお祈りします。来月号も発刊の予定です。